

どうターKINIKOの



ママの声vol.12

母乳をあげていると、ママは薬を飲んではいけないの？

今、妊娠9カ月の初産婦です。母乳でこどもを育てたいと思っているのですが、「母乳をあげていると、自分が調子悪くても薬も飲めないから、大変だったわ」と友人から聞きました。本当なのでしょうか？(パッフィーママ)

パッフィーママさんは「薬を飲んだら授乳できない」と言われて、授乳中に薬が必要な病気になったらどうしよう、と心配されているんですね。授乳をしているときにお母さんが使っても赤ちゃんに安全な薬はたくさんありますから、安心してください。

もしおっぱいを急に止めたら…

おっぱいは急に止めようとする、張ってきて、場合によっては乳腺炎になることがあります(一〇一三号記事参照)。また、赤ちゃんも大好きなおっぱいがもらえないので、悲しいし機嫌が悪くなります。忘れてならないことは、薬を飲んでいるお母さんの母乳にも、他では得ることのできないような、赤ちゃんにぴったりの栄養と病気に打ち勝つための免疫がたっぷり含まれていることです。ですから、母乳を続けられるような薬を飲むということが原則なのです。

ダメと書いてあっても…

医師が処方する薬の説明書には「授乳婦には授乳しないこと」「授乳する場合には授乳を避けさせること」と書いてあることが多いのです。確か

おっぱいは、薬を飲んでもあげられる！

に、薬を使ったお母さんの母乳を飲んだ赤ちゃんに、困ったことが起きたら大変です。しかし実際に使ってみたら、問題は起こらなかった、もしくはその可能性は低そうだし、もし起こっても薬を止めたら大丈夫、という安全な薬がたくさんあることが分かってきています。

医師に気持ちを伝え、相談

「歯科で抗生物質と痛み止めが出された」「膀胱炎になった」など、短期間ですが、薬が必要になることがあります。また、場合によっては薬が必要なものもあります。そういうときは、母乳育児を続けながら治療したいことを医師に話します。

そして、授乳中のお母さんが使っても安全な薬を選んでもらいます。診察した医師が母乳と薬の情報を持っていないかったり、お母さんの気持ちを分かってくれなかったりすることもあるかもしれません。そういうときは、赤ちゃんへの薬の影響が分かる小児科医や、母乳育児に理解のある産科施設の医師が頼りになることが多いものです。医師同士で、情報交換してもらえよう頼んでみましょう。場合によっては、違う医師に診察してもらうことも考えてもいいかもしれません。

母乳育児に理解のある小児科医を赤ちゃんが生まれる前から探してお



けば、こういうときにも力になってくれるでしょう。

薬を飲む時に気をつけること

薬を飲むタイミングとしては、効果が短い薬は授乳直後、長い薬は赤ちゃんの一番長い睡眠の前がいいと言われています。赤ちゃんに、食欲がない・下痢・眠らない・眠りがち・異常に泣く・嘔吐(おうと)・皮膚の発疹などが見られたときは小児科医に相談しましょう。

一方、一時的に使用する薬で、授乳を止めた方がいいと判断された場合でも、母乳育児そのものをあきらめる必要はありません。その薬を飲んでる間は乳腺炎を予防し、母乳の分泌量を減らさないように搾乳だけをしておきます。薬が終わったら、直接授乳を開始すればいいのです。授乳しない間は、あらかじめ搾っておいた母乳があれば母乳を与え、なければ人工乳を与えます。

「おっぱい育て」で何より大切なことは、お母さんが元気なこと。そのために必要な薬とは、上手に付き合っていくましようね。

文/涌谷桐子(沖縄県立宮古病院女性相談室担当医 国際認定ラクテーション・コンサルタント)

★お役立ち情報★

①日本ラクテーション・コンサルタント協会ホームページhttp://jal-net.jp/に母乳育児Q&Aがあります。この中の「インフルエンザ」「花粉症と母乳育児」の中にも、母乳育児と薬についての情報があります。

②よく使う安全な薬の代表
抗生物質：セフェム系、ペニシリン系、
 エリスロマイシン
解熱鎮痛剤：イブプロフェン、
 アセトアミノフェン